授業改善推進プラン　【　4年　】

令和6年度　小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策（いつまでに、どの程度）	追加・修正
国語	・主語述語のねじれのない文を書いたり、語彙を増やしたりすることが課題である。 ・漢字の読み書きの定着に課題が見られる。読むことは定着が見られてきているが、書くことに関してはまだ定着に至っていない面が見られる。 ・文章を根拠に内容を読み取るための読解力が身に付いてきているが、習得している語彙の不足から、内容を理解することが難しい場面が見られる。 ・話すことが好きで、積極的に発言することができるこどもが多い。ただ、根拠を明確に、適切に表現する力に課題が見られる。	・授業での振り返りで作文力を高めたり、辞書を使った意味調べ等で語彙を増やす活動を取り入れたりしていく。 ・新出漢字の反復練習を授業以外でも定期的に行い、文を書く際には学習した漢字は必ず書く習慣を身に付けさせる。 ・教室内に授業で学習した言葉を掲示し、語彙を増やしていけるようにする。 ◎文章の読み取りの学習で行っている文章を根拠に読み取る学習を活かし、根拠を入れた発言をさせる指導の工夫をしていく。 ・学習者用端末などを活用して、意見の交流を促す。	
社会	・課題に合わせて本やインターネットを用いて資料を集めることができるが、情報を比較検討したり整理したりすることに課題が見られる。 ・生活に身近な社会的事象への関心は高く、意欲的に学習する児童が多い。	◎学習課題を明確にし、既習事項や生活経験から自分なりの考えをもつとともに、資料から必要な情報を読み取れるようにする。 ・課題解決の際に調べる目的や視点を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。 ・グラフや表の項目や数値に注目させて特徴を考えさせたり、全体的な傾向を読み取ったりする活動を多く取り入れる。 ・学習者用端末を活用することで必要な資料を集めたり、学んだことを効果的にまとめたりできるようにする。	
算数	・ノートはよく記録しており、促せば自分の考えも書ける。 ・全体的に前向きに学習に取り組んでおり、問題に粘り強く取り組んだり次の課題を求めたりすることができる。 ・既習事項（繰り下がりのあるひき算、九九など）が、十分に身に付いていない児童がいる。 ・1学期に学習した基本的な計算技能（わり算の筆算など）がまだ十分に身に付いていない児童がいる。	・基礎や基本の定着を重視した授業展開を行い、問題演習を多く行う。 ・積極的な学習態度や自分の考えを書く活動に対しては今後も価値づける言葉がけを増やし、絵や図、言葉で表現することや前向きに学習に向かうことを継続させる。 ◎プリントやドリルなどを活用し、下学年の学習内容も含めた反復練習に取り組ませる。 ・補習日や学期末には既習の問題を復習させる機会を設け，基本的な計算力が身に付くようにする。	
理科	・自然事象に対する興味関心が高く、植物の栽培や観察、実験に積極的に取り組む児童が多い。 ・観察や実験の結果を根拠に、新しく発見したことや分かったことをまとめて、発表することにまだ慣れていない児童がいる。 ・用語の理解など、基礎や基本の定着が不足している。	・自分なりの疑問を基にした学習に取り組むことで、より興味関心が高まるような学習活動をすすめていく。 ◎観察・実験の際、結果に基づいて差異点や共通点を考察させる。 ・定期的に学習内容を遡って振り返る時間を設け、基礎や基本の定着を図る。	
音楽	・旋律の重なりを楽しみながら楽曲の面白さを感じ取ったり、感じ取ったことを言葉や音で表現したりすることができる。音符や文字に書き表す経験は少ない。 ・体を動かす活動では、音をよく聴きリズムを合わせて活動できる児童が多く、意欲的である。バッテリーリズムの導入でペアやグループで取り組んでいる。	◎学習者用端末を活用して楽曲について自分の考えを基に友達と意見を共有し、対話的な学びを通して歌詞や曲想に合った表現、音楽をつくる過程を工夫することができるようにする。 ・鑑賞において、感じたことと気付いたことを関連させて鑑賞する力を身に付けさせる。 ・ペアやグループ活動を通して、学習者用端末を活用しながら自分の意見を基に互いに意見を伝え合える環境をつくる。 ・体を動かす活動を通して友達と気持ちよくコミュニケーションをとれる時間をつくり、心が開放できる時間を多く設ける。	
図工	・自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴を分かることができ、自分なりに工夫して表すことができる。 ・制作において、根気強く取り組み、納得のいく作品を仕上げ、きちんと片付けできる。 ・すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。	◎活動の中で、楽しさが味わえ、充足した時間となるよう、サポートしていく。 ・児童が活動の中で自分のイメージに気付いて活動の展開が図れるよう、一人一人の特性が表れる題材を設定する。 ・新しい材料用具は自分の感覚を通して特徴を捉えられるように、活動の時間を十分にとるようにする。	
体育	・ボールやなわなどの道具を使って運動したり、泳いだりするなど、技能面の習熟に大きな個人差がある。 ・運動に応じためあてをもち、活動の仕方を考え、工夫して運動しようとする力がついてきている。 ・運動することが好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。	◎学習カードを活用し、自分のめあてや作戦を具体的に選ばせて活動に取り組ませる。また、学習する中で見付けたポイントを伝え合い、運動の工夫ができるようにする。 ・絵や図、動画を活用して、運動の仕方のポイントとなる資料を提示したり、学び合いの時間を確保したりして技能の向上を図る。 ・学習の中にめあてに対する振り返りを必ず取り入れる。学習カードを活用し、思考を言語化させることで、思考の活性化を促す。	

総合	・意欲的に学習に参加できている児童が多い。 ・課題設定や課題追究など、学習のプロセスに慣れていない児童がいる。特に課題設定をしっかり持つことに課題が見られる。 ・調べたことや自分の思い、願いを適切に表現することが苦手な児童がいる。	・地域の題材設定、人材活用をすることで、より自分の事として取り組めるようにする。 ・課題の例を提示し、その中から選択して課題を立てさせる。また、資料を用意したり資料のどの部分を活用すればよいかを示したりしながら、課題追究させていく。 ◎様々な表現方法を例示し、その中から選択させ、自分の考えを表現できるようにする。 ・友だちのアイディアを参考にする機会を設定し、学び合いながら表現方法の工夫を身に付けさせていく。	
特活	・当番活動などに積極的に取り組んでいる。 ・活動を進めていく上で、話し合って進めていく活動に慣れていない。 ・当番活動に自主的に取り組める児童が多いが、個人差がある。 ・会社活動では、みんなが楽しめる企画を計画・実行できる児童もいるが、個人差がある。	・それぞれの係や当番での工夫を取り上げ称賛される機会を設けたり定期的に振り返りを行ったりして、更に意欲的に取り組めるよう支援する。 ◎よりよい生活を築くために、学級会での話し合い活動に慣れさせ、活動の中での自主的な意見交換の場を充実させる。 ・学級会を定期的に開き、話型や話の聞き方の指導を行うことで話し合いの仕方を身に付けさせ、議題に沿った話し合いができるようにする。	
道徳	・コミュニケーションを積極的に取ろうとし、元気よく挨拶ができる児童が多い。 ・基本的なルールやマナーに関しての正しい知識を身に付けさせる必要がある。 ・友達のことを気遣う場面も見られるが、相手の考えや思いよりも自分の言動を押し通そうとする場面が見られる。	◎B主として人との関わりに関することを重点に指導する。相手の気持ちをより深く理解できるよう、自身と相手の考え方や捉え方の違いがあることに気付かせ、相手を思いやることができる心を育む。 ・授業で学習したことを、日常生活に照らし合わせて振り返らせる。 ・月ごとのめあてを基に、定期的に学校の決まりを振り返らせ、ルールやマナーについての指導を繰り返し行う。	
外国語	・外国語の文化に興味をもつ児童が多い。 ・基本的なあいさつや天気についての表現に親しんでいる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定し、どうしたら相手に伝わるのか考えながらやり取りをできるようにさせる。 ・ゲームなど楽しい雰囲気でコミュニケーションをとりながら、繰り返し音声を聞かせ、英語表現に慣れ親しませるようにする。	